

ELECOM

USB2.0 切替器内蔵 USB パソコン切替器 KVM-U2P2/P4 ユーザーズマニュアル

この度は、エレコム製のUSB2.0切替器内蔵 USB パソコン切替器「KVM-U2P シリーズ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。「KVM-U2P2」は2台まで、「KVM-U2P4」は4台までのパソコンを1台のディスプレイ/キーボード/マウスで操作できるパソコン切替器です。このほかマイクとスピーカ、USB1.1/2.0の周辺機器を共有して切り替えることもできます。このマニュアルでは「KVM-U2P シリーズ」の使用方法および安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて「KVM-U2P シリーズ」を「本製品」と表記しています。また、このマニュアルはお読みになったあとも大切に保管しておいてください。

本製品には以下のような特長があります。

- 複数のパソコンを1台のディスプレイ/キーボード/マウスを使って操作できます。
 - マイク、スピーカやヘッドセットも1セットで共有できる音声端子付きです。
 - USB2.0対応のUSB切替器を2ポート装備しています。
 - ドライバ不要の簡単接続。切り替えは本体上のボタンおよびホットキーに対応しています。
 - ホットキーで切り替える場合、「コンソール(ディスプレイ/キーボード/マウス)」「音声機器」「USB機器」をそれぞれ別のパソコンで使用できます。例えば、パソコンAでUSBプリンタから印刷中に、スピーカからパソコンBで音楽を再生し、コンソールでパソコンCを操作することができます。
- ※前面のCPUセレクトボタンで切り替える場合は「コンソール」と「音声機器+USB機器」を別々に使用可能。
- マウス、キーボードはUSBインターフェイスに対応しています。
 - ビデオカードはQXGA 2048 × 1536ドットの解像度まで対応しています。
 - Microsoft IntelliMouse 互換マウスに対応しホイール機能が使用できます。
 - [Caps Lock]、[Num Lock]、[Scroll Lock] キーはパソコンを切り替えても、各キーのON/OFFは保持されます。

Tips ホットキーとは

特定の機能をキーボード上のキーの組み合わせを押すことで実行できるようにする機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押す必要がなく、キーボードから操作できる便利な機能です。例えば、本製品では [Shift] キーを押しながら [Ctrl] キーを2回押し、そのあと [Enter] キーを押すことで次のパソコンに切り替えることができます。

本製品を使用するための手順フロー

パッケージ内容と注意事項を確認しましょう

接続の前に準備をしましょう

- ・Windows 98 ではあらかじめ本製品をUSB機器として認識させておきます。
- ・USBキーボードとUSBマウスはOSに関係なく各パソコンで認識できるようにしておきます。

パソコンや接続する各機器の電源が切れていることを確認しましょう

- ・各パソコンの電源が切れていることを確認し、さらにACコンセントから電源ケーブルを抜きます。
- ・本製品に接続するその他の機器の電源も切れていることを確認します。

本製品にコンソール機器とパソコン、USB機器などを接続しましょう

- ・コンソール機器(ディスプレイ、キーボード、マウス)の各ケーブルを本製品に接続します。付属のKVMケーブルを使って本製品と各パソコンを接続します。必要に応じてスピーカやマイクロフォン、USB機器を接続します。
- ・最後にパソコンの電源ケーブルと本製品のACアダプタを接続します。

各機器の電源を入れて使ってみましょう

- ・各パソコンおよびコンソール機器、USB機器などの電源を入れます。
- ・本製品のCPUセレクトボタンまたはキーボードのホットキーを押して切り替えます。

1 はじめに

パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不用品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- | | | |
|--|-------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> USB2.0切替器内蔵 USB パソコン切替器 | “KVM-U2P2”または“KVM-U2P4” | 1台 |
| <input type="checkbox"/> KVMケーブル | KVM-U2P2の場合 | 2本 |
| | KVM-U2P4の場合 | 4本 |
| <input type="checkbox"/> ACアダプタ | | 1個 |
| <input type="checkbox"/> ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) | | 1枚 |

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

-  ○記号は「してはいけない」ことを示します。
-  ●記号は「しなければならない」ことを示します。

警告

-  本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止しうえて、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

-  本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止しうえて、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。間違って使用すると、機器の故障、火災や感電の原因になります。

-  本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止しうえて、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

-  本製品および付属品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

-  本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止しうえて、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

-  本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

-  本製品に接続したケーブルをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

注意

-  本製品にパソコンおよび周辺機器を接続するときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

-  本製品は次のようなところには置かないでください。
 - ・日のある自動車内、直射日光のあたる場所、暖房器具の周辺など高温になる場所
 - ・多湿な場所、結露をおこす場所
 - ・平坦でない場所、振動が発生する場所
 - ・マグネットの近くなどの磁場が発生する場所
 - ・ほこりの多いところ

-  本製品にケーブルを接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、本製品が故障したり、けがをする恐れがあります。

-  本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないようで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

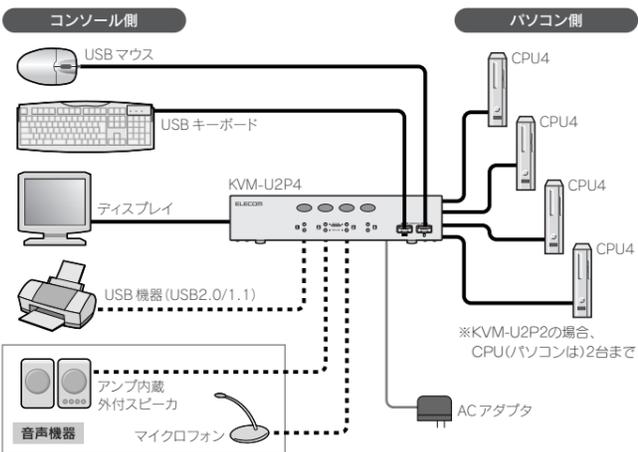
-  長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタをACコンセントから抜いておいてください。故障の原因になります。

本製品について

■こんなふうに使えます

本製品は1組のコンソール(ディスプレイ/キーボード/マウス)で複数のCPU(パソコン)を切り替えて使用するための機器です。パソコンが複数あってもディスプレイやキーボード、マウスが1組しか必要ありませんので省スペース、ローコストを実現できます。さらに本製品には以下のような機能があります。

- ・USB2.0対応のUSB切替器を装備していますので、USB2.0/1.1対応のUSB機器をCPU(パソコン)間で共有し、切り替えて使えます。
- ・マイクロフォンやアンプ内蔵スピーカを接続することで、マイク入力とスピーカをCPU(パソコン)間で切り替えて使えます。



●CPUセレクトボタン(本製品前面)を使用すると

- ・「コンソール」「音声機器」「USB機器」をすべて同じCPU(パソコン)に切り替えることができます。
- ・「コンソール」と「音声機器+USB機器」を別々のCPUに接続できます。例えばコンソールはCPU1と、音声機器+USB機器はCPU2に接続できます。

●ホットキーを使用すると

- ・「コンソール」「音声機器」「USB機器」をすべて同じCPU(パソコン)に切り替えることができます。
- ・「コンソール」「音声機器」「USB機器」をそれぞれ別々のCPUに接続できます。例えばKVM-U2P4の場合はコンソールをCPU1に、USB機器をCPU2に、音声機器をCPU3に接続したりできます。

本製品を使用するために必要なシステム構成

本製品を使用するためのシステム条件は以下のとおりです。

●コンソール(ディスプレイ、キーボード、マウス)

- ・ディスプレイ×1台(VGA以上の解像度に対応するマルチシンクタイプのディスプレイ)
- ・USBキーボード×1台
- ・USBマウス×1台(Microsoft IntelliMouse 互換のホイール付きマウスも使用可能)

●パソコン

- Windows XP/Me/2000/98を使用するIBM PC/AT互換機で以下の条件に適合するマシン
 - ※ノートパソコンでの使用はサポート対象外です。
- ・VGA以上の解像度に対応するビデオ(ディスプレイ出力)機能
- ・USBキーボード、USBマウスなどUSB機器が接続できるUSBポートを装備(本製品はUSB2.0に対応していますのでUSB2.0対応のUSB機器を接続できます)
- ・ステレオミニプラグ対応のライン出力およびマイク入力(音声を再生/入力する場合に必要)

●必要に応じて用意するもの

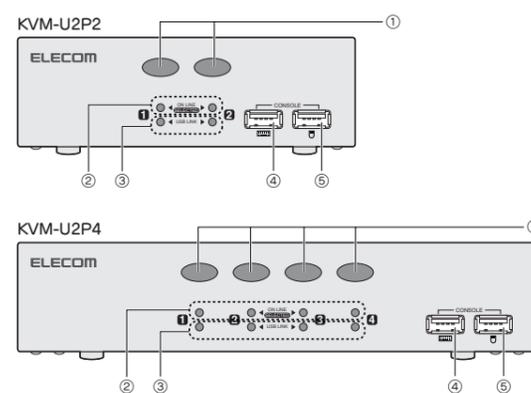
- ・USB2.0/1.1対応USB機器×2台まで(USB機器を切り替えて使用する場合に必要)
- ・スピーカ×1セット、マイクロフォンまたはヘッドセット(音声の再生や入力に必要)

注意 KVMケーブルは必ず本製品に付属のものを使用してください

KVMケーブルは本製品専用の配線構造になっています。本製品で使用するKVMケーブルは必ず本製品に付属のものを使用してください。また、付属のKVMケーブルを他の製品で使用しないでください。

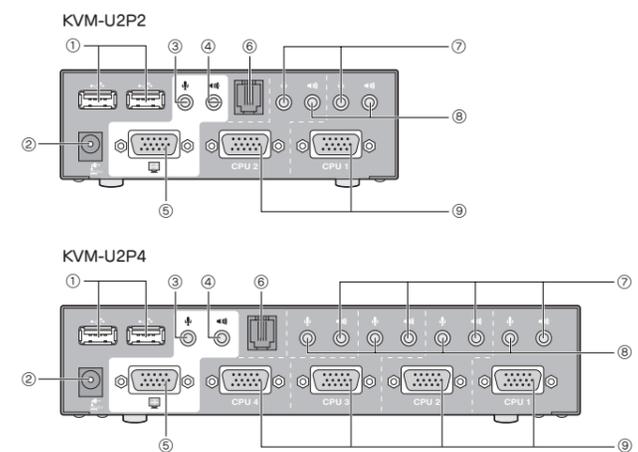
各部の名称とはたらき

■前面



① CPUセレクトボタン	このボタンを押すことでコンソールが使用するCPU(パソコン)を切り替えたり、USB機器+音声機器を使用するCPUを切り替えることができます。ボタンは左からCPU1、CPU2…の順番で対応しています。操作方法については ■ 面の「CPUセレクトボタンを使う」をお読みください。
② [ON LINE/SELECTED] ランプ	本製品とパソコンの現在の接続状態を示します。詳しくは ■ 面の「CPUセレクトランプの表示状態」をお読みください。
③ [USB LINK] ランプ	USBポートに接続された機器がどのCPU(パソコン)と接続状態にあるかを示します。詳しくは ■ 面の「USBポートリンクランプの表示状態」をお読みください。
④ USBキーボードポート	コンソール側のUSBキーボードを接続します。
⑤ USBマウスポート	コンソール側のUSBマウスを接続します。

■背面



① USBポート	USBプリンタなど各パソコンで共有したいUSB機器を接続します。各ポートに1台ずつのUSB機器を接続できます。本製品のUSBポートはUSB2.0に対応していますのでUSB2.0対応の機器を接続することができます。
② 電源ジャック	本製品に電源を供給するために付属のACアダプタのプラグを差し込みます。本製品に付属以外のACアダプタは使用しないでください。
③ マイク入力用ジャック(コンソール)	マイクロフォンを使用する場合にマイクロフォンのマイク端子(ステレオ・ミニプラグ)を接続します。ヘッドセットを接続することもできます。
④ 音声ライン用ジャック(コンソール)	スピーカを使用する場合にアンプ内蔵スピーカのライン端子(ステレオ・ミニプラグ)を接続します。ヘッドセットを接続することもできます。
⑤ ディスプレイポート(コンソール)	コンソール側のアナログ対応ディスプレイ(モニタ)のディスプレイ端子(D-Sub ミニ 15ピン:オス)を接続します。
⑥ RJ11ポート	拡張機能用のポートですが本製品では使用できません。絶対にRJ11コネクタを使用する機器を接続しないでください。
⑦ マイク出力用ジャック	付属のKVMケーブルのマイク入力用プラグ(ピンク)を接続します。
⑧ 音声ライン用ジャック	付属のKVMケーブルの音声ライン用プラグ(黄緑)を接続します。
⑨ SPHDポート	付属のKVMケーブルのディスプレイ端子(緑)を接続します。本製品側のSPHDポートの結線内容は通常のディスプレイ出力ポートとは異なります。本製品に付属のKVMケーブル以外は絶対に接続しないでください。

2 接続しましょう

接続作業を始める前に

- 各 CPU (パソコン) で USB 機器が使用できるようにあらかじめ準備しておいてください
USB キーボードと USB マウスは必ず各 CPU に直接接続して動作することをあらかじめ確認してください。また、本製品の USB ポートに接続する USB 機器もあらかじめ各 CPU で使用できる状態にしておけば接続後、切り替えるだけですぐに利用できます。
- Windows 98 (98SE を含む) を使用するパソコンを接続する場合
Windows 98 では本製品を USB 機器として認識させた状態で使用しないとキーボードとマウスが正常に動作しないことがあります。全体の接続を始める前にあらかじめ以下の作業をおこなってください。
 - ① Windows 98 が動作するパソコンを単独で操作できるようにディスプレイ、USB キーボード、USB マウスを接続した状態で起動します。
 - ② 本製品の背面にある CPU1 の CPU ポートに付属の KVM ケーブルの緑色のディスプレイコネクタを接続します。
 - ③ 手順②で接続した KVM ケーブルのもう一方側のコネクタのうち紫色の USB コネクタだけを Windows 98 が動作するパソコンの USB ポートに接続します。
 - ④ Windows 98 のパソコンで本製品が USB 機器として認識されれば準備作業は完了です。
KVM ケーブルはいったん外してください。

本製品と機器を接続する

1. 以下のことを確認します。
 - ①すべての機器の電源が切れていること
 - ②本製品に接続する CPU (パソコン) からディスプレイ、キーボード、マウスなど共有する機器が外されていること
2. ディスプレイ、USB キーボード、USB マウスを本製品の各ポートに接続します。
USB キーボードと USB マウスは前面の [CONSOLE] に、ディスプレイは背面にある [青色] のコンソール用ディスプレイポートに接続します。
3. 必要に応じて、マイクホンやスピーカなどの音声機器と USB 機器を本製品の背面にある各ジャック、ポートに接続します。
 - マイクホンとライン(スピーカ等)のプラグはコンソール用のジャックに、USB 機器は USB ポートに接続します。
 - マイクホンとライン(スピーカ等)のプラグは、色やアイコンを参考にして正しく接続してください。
4. 付属の KVM ケーブルを接続します。[緑色] のディスプレイコネクタ側にあるコネクタ/プラグを本製品の背面にある各ジャック、ポートに接続します。
 - 本製品側に接続する KVM ケーブルのコネクタは USB コネクタ等が分岐していない側です。
 - マイクホンとライン(スピーカ等)のプラグは、他の CPU ポートに間違えて接続しないように注意してください。

接続図を参考にして以下の手順で各機器を接続してください。

5. KVM ケーブルの [青色] のディスプレイコネクタ側にあるコネクタ/プラグをパソコンの各ジャック、ポートに接続します。
マイクホンとライン(スピーカ等)のプラグは、色やアイコンを参考にして正しく接続してください。

Tips USB コネクタの色について

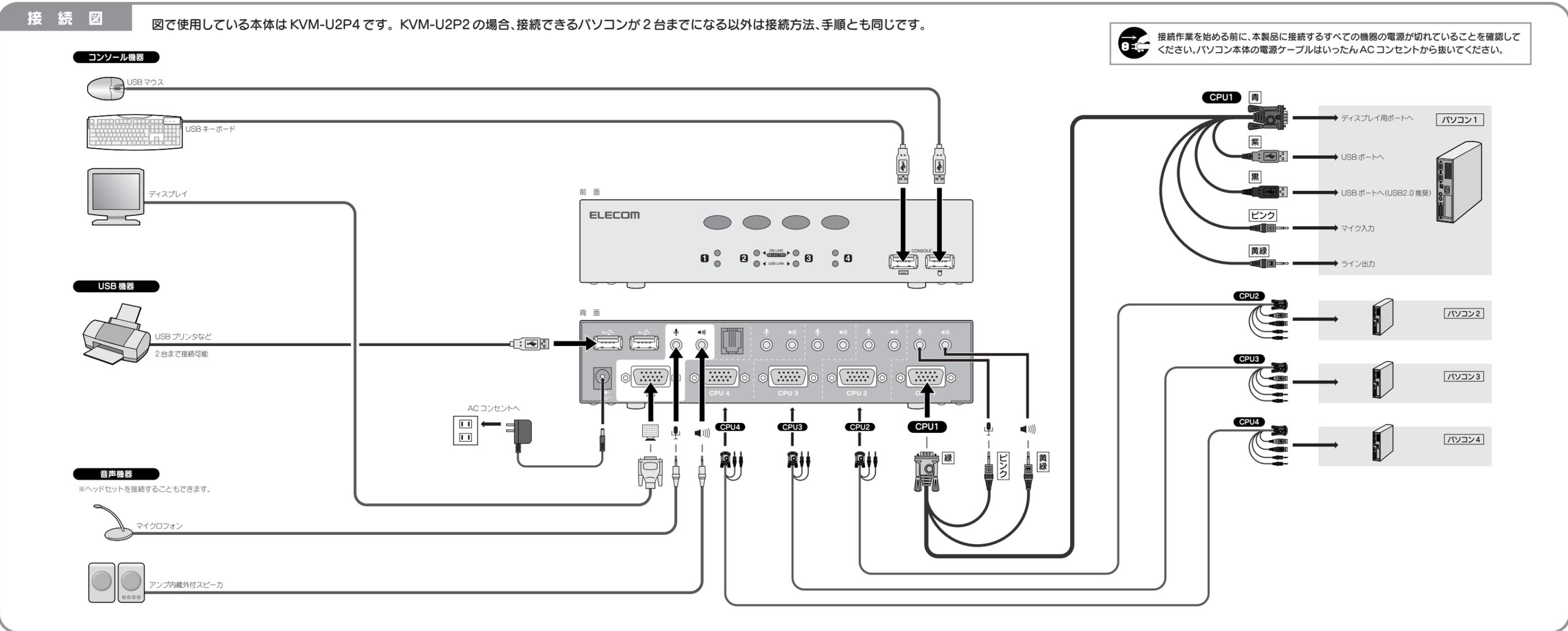
[黒色] の USB コネクタが USB 機器との接続用です。[紫色] の USB コネクタがキーボードとマウスとの接続用です。パソコン側に USB2.0 に対応したポートがある場合、[黒色] の USB コネクタは必ず USB2.0 に対応したポートに接続してください。[黒色] の USB コネクタを USB1.1 対応の USB ポートに接続した場合は本製品の USB ポートも USB1.1 として動作します。[紫色] の USB コネクタは USB1.1 対応の USB ポートに接続してもかまいません。

6. 本製品に付属の AC アダプタを背面にある電源ジャックに接続し、AC アダプタ本体を AC コンセントに差し込みます。

7. コンソール側のディスプレイおよび各パソコン、その他の機器の電源を入れると本製品を使用できるようになります。

本製品に USB 機器を接続する場合のご注意

- USB 機器によっては接続の前に、USB 機器のドライバやユーティリティのインストールが必要な製品があります。
- このような製品については本製品に接続するすべてのパソコンに、その製品のドライバやユーティリティをあらかじめインストールしておく必要があります。本製品に USB 機器を接続する前に必ず USB 機器の説明書をお読みになり内容をご確認ください。
- USB 機器をパソコンが初めて認識しときにその製品のドライバやユーティリティのインストールを要求されることがあります。
- このような場合は、その製品のマニュアルをお読みになり必要な作業をおこなってください。



3 使ってみましょう

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)、USB 機器を特定の CPU (パソコン)に切り替えるには、本製品の前面にある「CPU セレクトボタン」を使う方法と、キーボードに割り当てられた「ホットキー」を使う方法があります。また、一定間隔でスキャンしながらパソコンを切り替える「オートスキャン・モード」を使用することもできます。

注意 USB 機器の切り替え
本製品の背面に接続した USB 機器の接続を切り替える場合、USB 機器によっては、接続中のパソコンでの認識を解除しないと別のパソコンに接続できない機器がありますのでご注意ください。詳しくは USB 機器の説明書でご確認ください。

Tips ホットキーとは
特定の機能をキーボード上のキーの組み合わせを押すことで実行できるようにする機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押す必要がなく、キーボードから操作できる便利な機能です。例えば、本製品では [Shift] キーを押しながら [Ctrl] キーを 2 回押し、そのあと [Enter] キーを押すことで次のパソコンに切り替えることができます。

使用中のランプ表示について

●CPU セレクトランプ(オレンジ)の表示状態	
表示状態	内 容
消灯	パソコンの電源が切れているか、パソコン自体が本製品に接続されていません。
暗く点灯	パソコンの電源が入っていますが選択中ではありません。
明るく点灯	その CPU ポートに接続されたパソコンを選択中で、コンソールが使用できます。
各ランプが順番に明るく点灯	オートスキャン・モードを実行中です。点灯したポートのパソコンが選択されています。

●USB ポートリンクランプの表示状態	
表示状態	内 容
消灯	パソコンの電源が切れているかパソコンの USB ポートと本製品が USB ケーブルで接続されていません。
暗く点灯	その CPU ポートに接続されたパソコンと本製品が USB ケーブルで接続されていますが、他のパソコンが USB 機器と接続中のため USB 機器を使用できない状態です。
明るく点灯	その CPU ポートに接続されたパソコンが本製品の USB ポートに接続された USB 機器を使用中または使用可能な状態です。

CPU セレクトボタンを使う

本製品の前面にある CPU セレクトボタンを使って、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)、USB 機器を使用する CPU (パソコン)を切り替えます。

任意の CPU (パソコン)に切り替える

CPU セレクトボタンを使用する場合、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)、USB 機器のすべてを同じ PCU (パソコン)に切り替えることも、コンソールから操作する CPU だけを切り替えることもできます。CPU セレクトボタンはそれぞれランプ表示にある CPU 番号 **1** (背面の CPU1)、**2** (CPU2)、**3** (CPU3)、**4** (CPU4)に対応しています。
※ KVM-U2P2 に **3 4** はありません。

●コンソール・音声機器・USB 機器をすべて同じ CPU (パソコン)に切り替える場合
使用したい CPU 番号に対応した CPU セレクトボタンを 2 秒以上押し続けます。ピッと音が鳴り、選択した CPU 番号の [ON LINE/SELECT] ランプと [USB LINK] ランプの両方が明るく点灯します。

●コンソールから操作する CPU (パソコン)だけを切り替える場合
使用したい CPU 番号に対応した CPU セレクトボタンを押してすぐに離します。ピッと音が鳴り、選択した CPU 番号の [ON LINE/SELECT] ランプだけが明るく点灯します。[USB LINK] ランプはそのままです。
※音声機器と USB 機器は直前まで選択されていた CPU に接続したままの状態になります。

Tips こんな使いかたがあります
例えば、USB ポートに接続したプリンタを使って CPU1 から印刷を実行している間に CPU2 のソフトウェアを操作したい場合は、あらかじめ CPU1 で印刷を実行してから CPU2 に切り替えます。こうすることで CPU1 から印刷しながら同時に CPU2 のソフトウェアを操作することができます。

オートスキャン・モードを使用する

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)から操作する CPU (パソコン)を 5 秒間隔で自動的に切り替えます。音声機器と USB 機器が接続する CPU は切り替わりません。

●オートスキャン・モードの設定方法
CPU セレクトボタンの **1** と **2** を同時に 2 秒以上押します。ピッと音が鳴り、オートスキャン・モードに切り替わります。選択中の CPU の [ON LINE/SELECT] ランプが明るく点滅します。5 秒間隔で次の CPU に切り替わります。[USB LINK] ランプはそのままです。音声機器と USB 機器は、オートスキャン・モードを実行する直前に選択していた CPU に接続されたままの状態です。

●オートスキャン・モードを中止するには
中止後に選択したい CPU の CPU セレクトボタンを押すと、オートスキャン・モードが終了します。2 秒以上ボタンを押すと、音声機器と USB 機器も同時に切り替わります。

ホットキーを使う

キーボードのホットキーを押すことで、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器、USB 機器で使用する CPU (パソコン)を切り替えることができます。

Tips キーの割り当てを変更する場合
初期値のキーでは別のアプリケーションなどとキー割り当てが重複する場合は、別のキー割り当てに変更することができます。このあとの「ホットキーの設定を変更する」をお読みください。

任意で CPU (パソコン)などを切り替える

ホットキーを利用する場合、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)、USB 機器を自由に組み合わせ、別々の CPU で使用できるように切り替えることができます。ここではおもなホットキーの利用方法を説明します。なお、ここでは初期値のキー割り当てで説明していますが「**[Ctrl]** キーを 2 回押す」を「**[Scroll Lock]** キーを 2 回押す」に変更している場合は読み替えてください。

●コンソール・音声機器・USB 機器のすべてを次の CPU (パソコン)に切り替える場合
1 **[Shift]** キーを押しながら **[Ctrl]** キーを 2 回押します。
2 **[Shift]** キーを離します。
3 **[Enter]** キーを押すと、次の CPU 番号のパソコンに切り替わります。
※ KVM-U2P2 では CPU1 → CPU2 → CPU1…の順に切り替わります。KVM-U2P4 では CPU1 → CPU2 → CPU3 → CPU4 → CPU1…の順に切り替わります。

●コンソール・音声機器・USB 機器のすべてを指定した 1 台の CPU (パソコン)に切り替える場合
1 **[Shift]** キーを押しながら **[Ctrl]** キーを 2 回押します。
2 **[Shift]** キーを離します。
3 切り替えたい CPU 番号に対応する数字キーを押します。
CPU1 → **1** キー、CPU2 → **2** キー、CPU3 → **3** キー、CPU4 → **4** キー (KVM-U2P2 は **1 2** キーのみ)
4 **[Enter]** キーを押すと、指定した CPU 番号のパソコンに切り替わります。

●コンソール・音声機器・USB 機器の中から選択して指定した CPU (パソコン)に切り替える場合
1 **[Shift]** キーを押しながら **[Ctrl]** キーを 2 回押します。
2 **[Shift]** キーを離します。
3 切り替えたい CPU 番号に対応する数字キーを押します。
CPU1 → **1** キー、CPU2 → **2** キー、CPU3 → **3** キー、CPU4 → **4** キー (KVM-U2P2 は **1 2** キーのみ)
4 コンソール・音声機器・USB 機器の中から選択したいものを指定します。
コンソール→ **[K]**、音声機器→ **[S]**、USB 機器→ **[U]**
例: コンソールと音声機器の場合 **[K]** キーと **[S]** キーを順に押します。
5 **[Enter]** キーを押すと、選択した機能だけが指定した CPU 番号のパソコンに切り替わります。

注意 キーを押す順序について
必ず CPU を指定するキー (1 ~ 4) を押してから、機器の種類を指定するキー ([K] ・ [S] ・ [U]) を押してください。 [K] ・ [S] ・ [U] キーを押す順序は自由です。また、大文字 / 小文字は区別されません。

Tips こんな使いかたがあります
(例 1) コンソールと USB 機器だけを CPU2 に切り替える 1 2 の操作のあと、 2 キー、 [K] キー、 [U] キー、 [Enter] キーの順に押します。コンソールと USB 機器が CPU2 に切り替わり、音声機器だけは今までのままになります。
(例 2) 音声機能だけを CPU1 に切り替える 1 2 の操作のあと、 1 キー、 [S] キー、 [Enter] キーの順に押します。音声機器(マイク入力+ライン出力)だけが CPU1 に切り変わります。

オートスキャン・モードを使用する

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)から操作する CPU (パソコン)を一定間隔で自動的に切り替えます。音声機器と USB 機器が接続する CPU は切り替わりません。オートスキャンの間隔は 1 秒単位で最大 99 秒間隔まで指定することができます (初期値: 5 秒)。

●オートスキャン・モードを開始する
前回設定した間隔 (初期値 =5 秒) でオートスキャンを開始します。
1 **[Shift]** キーを押しながら **[Ctrl]** キーを 2 回押します。
2 **[Shift]** キーを離します。
3 **[A]** キーを押します。
4 **[Enter]** キーを押すと、オートスキャン・モードが開始します。

●オートスキャン・モードを指定した間隔で開始する
オートスキャンの間隔を指定します。
1 **[Shift]** キーを押しながら **[Ctrl]** キーを 2 回押します。
2 **[Shift]** キーを離します。
3 **[A]** キーを押します。
4 数字キーを使って、間隔を秒単位 (最大 99 秒) で指定します。(例: 15 秒のとき → **1**・**5** キーを押す)
5 **[Enter]** キーを押すと、指定した間隔でオートスキャン・モードが開始します。

●オートスキャン・モードを終了する
[Esc] または **[スペース]** キーを押します。キーを押した時点の CPU が選択されます。

注意 オートスキャン中の操作について
オートスキャン中は [Esc] および [スペース] キー以外のキー入力およびマウス操作は受け付けません。

ホットキーの設定を変更する

ご使用の環境によっては初期値のホットキーでは別のアプリケーションなどとキー割り当てが重複することがあります。設定モードを使用するとキー割り当てを変更したり、その他のオプション設定ができます。

●設定モードに入る
1 **[Num Lock]** キーを押しながら **[□]** キーを押します。**[□]** キーは押してすぐに離してください。
2 **[Num Lock]** キーを離します。
3 **[Caps Lock]** と **[Scroll Lock]** ランプが交互に点滅します。設定を終了すると消灯します。
・設定モードを終了するには、**[Esc]** または **[スペース]** キーを押します。
・設定モード状態のときは、通常のキーボード入力やマウス操作はできません。

●設定コマンド
設定モード中に以下のコマンド操作をすることで設定できます。**[H]** **[T]** などのアルファベットキーの大文字 / 小文字は区別されません。また、★印の設定以外は操作後に自動的に設定モードを終了します。

[H]	設定モードに入るための操作キーを「 [Num Lock] キーを押しながら [□] キーを押す」から [Ctrl] キーを押しながら [F12] を押す」またはその逆に変更します。
[T]	ホットキーの操作キーを「 [Ctrl] キーを 2 回押す」から「 [Scroll Lock] キーを 2 回押す」またはその逆に変更します。
[R] 、 [Enter]	★ホットキー機能の各種設定を初期値に戻します。 [R] キーを押したあとに [Enter] キーを押す必要があります。
[B]	操作時のピープ音 (ピッと音) のオン / オフを切り替えます。
[F4]	現在のホットキー設定を確認することができます。詳しい操作方法は下記「現在のホットキー設定を見る」を参照してください。
[F5]	USB ポートが正常に認識されなくなったときなどに USB ポートの接続をリセットします。
[X] 、 [Enter]	★ホットキーの無効 / 有効を切り替えます。無効にすると設定モードに入る場合を除いてホットキーは使えなくなります。 [X] キーを押したあとに [Enter] キーを押す必要があります。
[Esc] ([スペース])	設定モードを終了します。

●現在のホットキー設定を見る
設定モードで **[F4]** キーを押すと現在のホットキー設定を知ることができます。以下の手順で操作してください。
1 ワープ口またはエディタソフトを起動し、新規文書を開いておきます。
2 設定モードに入り、**[F4]** キーを押します。自動的に現在のキー設定と各ポートの設定が書き込まれます。

ホットキー設定の見方
@num lock[+@-][and shift,@ctrl[+@ctrl[<div style="display: flex; justify-content: space-around;">L①L②</div>
①の部分について @num lock[+@-[→設定モードに入る操作に [Num Lock] + [□] キーを使用しています。 @ctrl[+@f12[→設定モードに入る操作に [Ctrl] + [F12] キーを使用しています。
②の部分について shift,@ctrl[+@ctrl[→ホットキーの操作に [Shift] キーを押しながら [Ctrl] キーを 2 回押す方法になっています。 shift,@scroll lock[+@scroll lock[→ホットキーの操作に [Shift] キーを押しながら [Scroll Lock] キーを 2 回押す方法になっています。

4 トラブルシューティングなど

■キーボードまたはマウスが反応しない

- キーボードまたはマウスのケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- オートスキャン・モードになっているときは、**[Esc]** または **[スペース]** キーを押して、オートスキャン・モードを解除してください。
- キーボードまたはマウスのケーブルをいったん抜いて、再度接続しなおしてください。
- 特殊マウスをご使用の場合は、Microsoft IntelliMouse 互換のマウスに交換してみてください。
- パソコンの電源をいったん切り、約 5 秒後に再度パソコンの電源を入れてキーボードまたはマウスの反応を確認してください。

■ディスプレイに何も表示されない

- ディスプレイケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- CPU セレクトボタンを押して、他のパソコンに切り替えてみてください。
- 解像度 / 帯域幅の設定を変更してください。本製品は、解像度が 2048 × 1536 ドットまでの VGA、SVGA マルチシンクと XGA（組み合わせ）のみに対応しています。
- 本製品とディスプレイを接続するケーブルを交換してください。高品質のケーブルを使用することで、画像の問題が軽減される場合があります。

■スピーカーから音が出ない

- 音声機器（マイク入力+ライン出力）が正しく選択されているか確認してください。
- スピーカー~本製品~パソコンの間のケーブルが正しく接続されているか、プラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- アンプ内蔵のスピーカーを使用しているか、またボリュームが最小またはミュート（消音）になっていないか確認してください。
- OS のサウンドのボリュームが最小またはミュート（消音）になっていないか確認してください。

■ホットキーが有効にならない

- キーをゆっくりと押した場合、ホットキーとして認識されない場合があります。今よりも早いタイミングで押してみてください。

■接続した USB 機器が正常に動作しない

- USB 機器を使用するのにドライバやソフトウェアは必要ありませんか。接続した USB 機器がドライバやソフトウェアを必要とする場合は、本製品に接続するすべてのパソコンにこれらをセットアップしておく必要があります。USB 機器の説明書でご確認ください。
- USB 機器を接続する前にパソコンにドライバやソフトウェアをセットアップする必要がないか確認してください。USB 機器によっては、セットアップをおこなう前に USB 機器がパソコンに認識されると正常に動作しないものがあります。USB 機器の説明書でご確認ください。

■パソコンを切り替えると USB 機器が使用できなくなる

- USB 機器によっては、接続中のパソコンでの認識を解除しないと別のパソコンに接続できない機器があります。USB 機器の説明書でご確認ください。
- USB 機器は、パソコンの切り替えを繰り返すと Windows 上で正常に認識されなくなる場合があります。いったん操作を終了し、接続されているすべてのパソコンの Windows を再起動してください。

■データ転送速度が遅い

- 本製品は USB2.0 に対応していますが、USB2.0 環境を使用するにはパソコンの USB インターフェイス、USB 機器、USB ケーブルのすべてが USB2.0 に対応している必要があります。また、USB2.0 環境でご使用の場合でも、条件によっては USB2.0 の最大速度でデータ転送ができない場合があります。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめのうえ大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、お問い合わせいただく前に、いま一度「マニュアル」|「ELECOM Web Site」内にあるサポート FAQ をご確認ください。FAQ にはお客様からいただく質問のうち、特に質問数が多いものをまとめてあります。それでも解決しない場合は、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

商品に関するお問い合わせ	●エレコム総合インフォメーションセンター	受付時間 9:00~12:00 年中無休 13:00~18:00
	TEL. 0570-084-465 FAX. 0570-050-012	

基本仕様

製品型番	KVM-U2P2	KVM-U2P4
対応機種	USBポートを標準で装備するIBM PC/AT 互換機	
対応OS	Windows XP / Me / 2000 / 98	
選択方式	本体前面のCPUセレクトボタンおよびキーボードのホットキー	
コンソール側	ディスプレイ出力ポート、USBキーボードポート、USBマウスポート、音声出力用ジャック、マイク入力用ジャック×各1	
CPU(パソコン)側	SPHDポート、音声入力用ジャック、マイク入力用ジャックの各ポート×パソコン2台分	SPHDポート、音声入力用ジャック、マイク入力用ジャックの各ポート×パソコン4台分
USB切替器	USB2.0/1.1対応USBポート×2	
ディスプレイ解像度	最大2048×1536ドット(DCC2B)	
オートスキャン	5秒間隔(初期値) 変更可能	
動作時環境条件	温度:0~50℃ 湿度:0~80%RH(結露なきこと)	
保管時環境条件	温度:-20~60℃ 湿度:0~80%RH(結露なきこと)	
形状寸法	W200×D74.5×H42mm	W260×D74.5×H42mm
重	約496g	
梱包品	製品本体、KVMケーブル×2本、ACアダプタ、マニュアル	製品本体、KVMケーブル×4本、ACアダプタ、マニュアル

保証規定

■保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。
(1) 保証書をご提示いただけない場合。
(2) 保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
(3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
(4) 弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
(5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
(6) 弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用したために故障または破損した場合。
(7) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
(8) 火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
(9) 消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
(10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
(11) 一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障または破損した場合。
(12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理

修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項

お客様ご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の責には応じません。また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲

本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証書	
型番	<input type="checkbox"/> KVM-U2P2 <input type="checkbox"/> KVM-U2P4 該当する型番をチェック <input checked="" type="checkbox"/> します。
販売店	
店名	住所 TEL
担当者名	保証期間 1年 お買い上げ年月日 年 月 日

ホットキー 一覧

必要に応じて縮小コピーするなどしてご利用ください。

任意で接続を切り替える

注: **[Ctrl]** を 2 回押す部分を **[Scroll Lock]** を 2 回に変更している場合は読み替え

●コンソール・音声機器・USB 機器すべてを次のCPU番号へ切り替える

- ① **[Shift]** を押しながら **[Ctrl]** を 2 回押す→
- ② **[Shift]** 離す→
- ③ **[Enter]** を押す

●コンソール・音声機器・USB 機器すべてを指定した1台のCPUへ切り替える

- ① **[Shift]** を押しながら **[Ctrl]** を 2 回押す→
 - ② **[Shift]** 離す→
 - ③ 指定する CPU 番号の数字キー (**[1]** ~ **[4]***) を押す→
 - ④ **[Enter]** を押す
- ※ KVM-U2P2 では **[1]** または **[2]**

●コンソール・音声機器・USB 機器の中から選択して指定したCPUへ切り替える

- ① **[Shift]** を押しながら **[Ctrl]** を 2 回押す→
- ② **[Shift]** 離す→
- ③ 指定する CPU 番号の数字キー (**[1]** ~ **[4]***) を押す→
- ④ 選択する機能のキー (CPU は **[K]**、音声機器は **[S]**、USB 機器は **[U]**) を押す→
- ⑤ **[Enter]** を押す

オートスキャン・モードを使う

●オートスキャン・モードを開始する

- ① **[Shift]** を押しながら **[Ctrl]** を 2 回押す→
- ② **[Shift]** 離す→
- ③ **[A]** を押す→
- ④ **[Enter]** を押す

●オートスキャン・モードを指定した間隔で開始する(最大 99 秒間隔)

- ① **[Shift]** を押しながら **[Ctrl]** を 2 回押す→
- ② **[Shift]** 離す→
- ③ **[A]** を押す→
- ④ 秒間隔を数字キーで押す (10 秒間隔なら **[1][0]**)→
- ⑤ **[Enter]** を押す

●オートスキャン・モードの終了

- [Esc]** または **[スペース]** を押す

ホットキーの設定を変更する

設定モードに入るには、**[Num Lock]** を押しながら **[-]** を押す→ **[Num Lock]** を離す (変更している場合 **[Ctrl]+[F12]**)

●設定コマンド(大文字 / 小文字は区別されません)

[H]	設定モードに入るための操作キーを「 [Num Lock] を押しながら [-] を押す」から「 [Ctrl] を押しながら [F12] を押す」またはその逆に変更します。	[F4]	現在のホットキー設定を知ることができます。詳しい操作方法は下記の「現在のホットキー設定を見る」を参照してください。
[T]	ホットキーの操作キーを「 [Scroll Lock] を 2 回押す」から「 [Ctrl] を 2 回押す」またはその逆に変更します。	[F5]	USB ポートが正常に認識されなくなったときなどに USB ポートの接続をリセットします。
[R] 、 [Enter]	ホットキー機能の各種設定を初期値に戻します。 [R] を押したあとに [Enter] を押す必要があります。	[X] 、 [Enter]	ホットキーの無効 / 有効を切り替えます。無効にすると設定モードに入る場合を除いてホットキーは使えなくなります。 [X] を押したあとに [Enter] を押す必要があります。
[B]	操作時のピープ音(ピツという音)のオン / オフを切り替えます。	[Esc] [スペース]	設定モードを終了します。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。

・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。

・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。

・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。

・Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に記載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。